

# 広報みしま

町のすがた

(11月1日現在)

人口 男 3,303人 (-3)  
 女 3,526人 (+3)  
 計 6,829人 (0)  
 世帯数 1,651 (+5)  
 ( )は10月1日との比較

第212号  
 毎月15日発行  
 定価1部20円

昭和60年11月15日  
 発行 新潟県三島郡三島町役場  
 ☎(0258)442-2221  
 印刷 長岡市 総合印刷 KK中 越

## 作る「人」を体験しました



豊かな実りを握りしめて

明日の農業の担い手を育てようと、町がとりくむ農業後継者実践活動推進事業の一端として行われた、中学生の体験農業を飾るモチつき大会(収穫感謝祭)が11月7日行われました。

校庭にウス11組を並べて、野立てモチをふかず風流でワイドモチつき大会、この日、父兄の冬囲い奉仕もあって、共に汗をた親子が一堂に集って、熱いおしるこに舌づつみ。

田植は「ヌルーとして気持ち悪かった……」、稲刈は「暑くてクチクしてさ……」と、いろんな体験のなかで、いま生徒たちが働く喜びを味わい、収穫物への感謝の気持ちを育てています。

それが、産業まつりに展示された、生徒の標語やポスターのうかがえるのではないのでしょうか。



足が……



うあー、だんだんモチになってきた!



これを本物の野立



親子で食前の「モチ」(おしるこ)



# 受けついで

父から子 受け継ぐ喜び 大きな期待

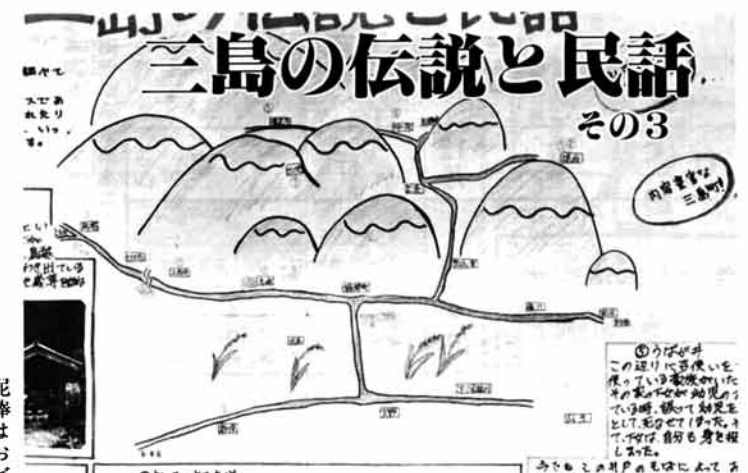
貴島恵美子

豊かな大地 伸びゆく農業 郷土の宝

滝沢 毅

### ④ 新保の観音様

新保の観音様にまつわる話である。  
 この観音様は、ご利益がある



泥棒はおどろき、反省して新保に返したという。



ので、近隣に知れわたっていた。ある日、泥棒がこの観音像を盗んだのだが新保から遠ざかるにつれて、背にかついだ観音像がだんだん重くなってきた。とうとう最後には一歩も歩けないほど重くなり腰をおろして思案にくれていた。すると、観音様が「わたしや、新保が好きじゃ、もとのところへ返してくれ」と言った。

### ⑤ うばが井



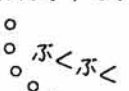
わたしや、新保が好きじゃ!! その観音様のお堂

うばが井は蓮花寺仏ノ入の沢にあり、現在はその面影は残していないが、昔この辺に召使いをたくさん使っている豪族がいた。ある日、その家の下女が幼児のおもりをしている時、誤って幼児を井戸へ落として、死なせてしまった。それを、わびて下女は、自分も身を投げ死んでしまったという。

九月号から、連載でお知らせしております。民話には中学生が社会科の勉強で調べたもの。みなさんからも、語り伝えられた伝説、民話がありましたら若い世代に伝える意味で係までご一報下さい。合せて紹介させていただきます。



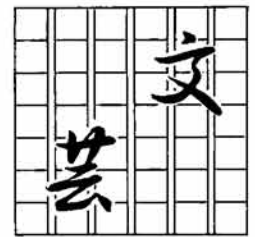
この水はヒフ病にきくとこのことで、昔からよくつかわれたそうです。



井戸の底から、ぶくぶくと泡が浮かんでくるそうです。



### 俳句



鈴なりの柿そのままに捨部落  
 柿低し屋根づたいして取りにけり  
 おのが影足にからみて冷やかに  
 人影と思ひし霜夜の木立かな  
 橋田のむんむん車走りゆく  
 鎌の月中央にあり池にあり  
 色付きし柿に過ぎゆく月日かな  
 山の湯の訪れまれに秋深し  
 酒蔵の三ツある町秋気澄む  
 背負ひ籠釣瓶落しの急ぎ足

中村遊雲  
 丸山義成  
 遠藤枯骨  
 棚橋比呂志  
 名塚清一  
 井上蝶子  
 大滝蒼風  
 尾竹花翠  
 遠藤素木  
 木戸忠津



# 三島町 行革大綱決まる

増税なき財政再建を実現するため、先ず行政の在り方を大きく改め、より望ましい方向に変えて行くため、政府は、昭和五十六年三月いむゆる第二臨調を設置し、二年間にわたり行政制度及び行政運営に関する基本的事項の審議を行ったほか、五十八年には、臨時行政改革推進審議会が設置され、逐次改革意見が提出されております。

このようななかで、今年一月には地方公共団体の行政改革の指針を総括的に示し、今後の地方行政の一層の推進を図るための「地方行政大綱」が示されました。

これをうけて、町では五月に「三島町行政改革推進本部」を設置するとともに、町内の有識者七名の方々に推進委員会委員に委嘱し、七月二十二日以後五回にわたり、行政機構の簡素合理化、事務事業の見直し、定数管理等について、全般的に見直しを行ない行政のムダや不合理、あるいは不要なもの、コスト高のものにメスを入れ、これらをカットして財源を浮かし、そのお金で住民が最も必要とする事業を伸ばすにはどうすべきかについて審議をいただきその結果、九月十三日に三島町の行政改革推進に関する答申をいただきました。

この答申に基づいて、町では「行政改革大綱」を策定いたしました。これが町民の皆様へのサービス低下となることのないよう配慮しながら実行してまいりたいと思っておりますので、町民各位のご理解ご協力をお願い申し上げますとともに、大綱の概要を申し上げます。

## 三島町行政改革大綱

### 第一 行政改革の基本方針

- 一、行政改革は必要に応じて常に継続して推進する。
- 二、行政改革の必要性を充分認識し無駄を省き行政コスト
- 三、行政改革の推進に当たっては「三島町行政改革推進委員

- の節減に努め、効率の良い財源活用を図り住民の最も必要とする分野の充実強化に努める。
- 三、行政改革の推進に当たっては「三島町行政改革推進委員

- 第二 当面の措置事項
- 次の事項については昭和六十年から昭和六十二年までの三か年間に実施する。
- 一、事務事業の見直し
- (一)補助金の廃止、減額、終期設定。

- 二、組織機構の簡素合理化
- (一)支所の廃止
- (二)合併後三十年近く経過した今日、時代の流れと共に住民の生活様式や交通事情の変化にともない支所の存続意義が薄れてきているので廃止の方向で検討する。

## 21世紀に向けて "躍進" の節目

### 合併30周年記念式典行われる



前町長の功績をたたえる 遠藤町長

三島町の誕生三十周年を祝う式典が十一月一日、役場講堂で開かれました。

十時半から始まった式典には歴代の町長、議会議員さんら町内各関係機関の代表八十二名参列の簡素な式典ではありましたが、町長の「この三十年間は、度重なる有史以来の大災害と困難な財政事情のもとで、新しい三島町としての基礎固めに専念してきた期間であった。今日の式典を三島町が二十一世紀に向

### 青柳芳野さん 勲五等瑞宝章



青柳芳野さん

旧日吉村から新生三島町誕生後も、八期余三十二年四月といたう永きにわたり、議会議員として地域振興と議会制度の高揚、住民福祉の向上等に多大に貢献されました。また、二期八年間にわたり議会選出の監査委員として、町行政の効率化、適正化のために多大な貢献をされました。

- (一) 現行のガス企業団への職員派遣は事務職員のみとする。
- (二) 現行のガスの企業団への職員派遣は事務職員のみとする。
- (三) 健康管理事務の電算化
- (四) 文書事務のワープロ化
- (五) 国保事務の電算化
- (六) 児童手当事務の電算化
- (七) 地方議会の合理化
- (八) 議員定数の削減

習得を図りながら次の事務について当面推進する。

- (一) 健康管理事務の電算化
- (二) 文書事務のワープロ化
- (三) 国保事務の電算化
- (四) 児童手当事務の電算化
- (五) 地方議会の合理化
- (六) 議員定数の削減

最近のきびしい行政改革のなかで住民の意向を見極めながら自主的に削減の方向で検討する。

## 6,888人の末広がりでストップ・ザ人口減

十月一日現在で実施された、昭和六十年国勢調査の速報による三島町の人口(概数)は、六千八百八十八人でした。

これは前回五十五年の比で六十人が増となり、世帯では二

限ってみれば、ようやく減少傾向が止まったと言えるでしょう。各大字別の結果は別表のとおりです。

調査の詳しい内容は、やがて公表される総務庁の発表をまたなければなりません。今回調査が、減から増への大きな区切りとなることは確実で、町ではこの結果を開発計画に組み入れ、発展への足がかりとするため、準備が進められています。

### 国勢調査人口・世帯数

町・字別	人口		世帯数		人口増減率(%)
	60年	55年	60年	55年	
計	6,888	6,828	1,560	1,562	0.9
町	1,121	1,142	278	283	△1.8
鳥居	551	531	126	126	△3.8
七日	567	574	126	127	△1.2
上吉	431	475	107	110	△9.3
脇野	1,334	1,382	339	337	△3.5
中野	158	166	31	31	△4.8
新大	248	241	58	56	△2.9
下河	194	194	40	40	△3.5
瓜花	267	265	53	54	△0.0
蓮中	304	301	74	74	△1.0
上逆	73	73	14	15	△0.0
気比	274	275	64	65	△0.4
宮み	255	241	64	57	△5.8
三島	273	303	65	65	△9.9
病院	134	140	29	28	△4.3
	77	—	—	—	—
	212	114	—	—	△86.0

## 人命救助で古沢さんを表彰

三島町と三島町消防団は、十月二十一日、石油資源開発KK三島鉱場、古沢一雅さん(三三)を人命救助で表彰、感謝状と金一封を贈りました。

これは、九月十七日未明、藤川、片桐寅七さん方の火災

に際し、第一発見者として適切な一八九番の通報をする一方、寝ている家人を起し、自ら危険をおかし火中から母子三人を救出してくださいました。

ジでは、民謡・おどり、神楽舞など町文化協会の芸能発表に参観者は、大満喫の秋まつりに終日、町あげての秋まつりににぎわいを見せていました。

農産物品評会など、つぎの方々が受賞されました。(敬称略)

☆農産物品評会の部 特別賞 産業まつり会長賞—佐藤藤平瓜生、玄米—日本たばこ産業株式会社長岡原理事事務所長賞—難波秀雄(七日市、葉たばこ)、長岡

## 町農業共済事業・長岡広域組合に合併

30年の歴史を閉じて、事業強化とサービス向上へ

十月十二日に三島町農業共済事業が、三十年の永い歴史を閉じて長岡広域農業共済組合に合併するための調印式が県連長岡出張所で行われました。

昭和三十年、町村合併を機に誕生した三島町農業共済組合が三十二年には日吉村農業共済組合と合併し、以来幾多の災害と異常気象等による悪条件のなかで、農業所得増大のため、積極的な共同防除の実施等を図られ、より一層の指導体制と合理化を図るため、昭和五十五年四月三島町に共済事業が移譲されました。

今日まで、水稲共済、家屋共済、さらには、水田再編対策事業にかかる作物の共済制度のとりくみなどが効果的に運営されてまいりましたが、これからの農業事情の変化に対応する、農業共済事業運営の基盤の強化、事務の効率化、組合員のサービスの向上を図るために、六十一年



合併に向け覚書に調印する町長

## 秋晴れのなか多彩な行事でにぎわった産業まつり

例年、文化の日は晴れるという期待どおりの晴天下「町産業まつり」が十一月二・三日町体育館をメイン会場として、多彩な催しで行われました。

雨なしの炎天続きから一変して、雨ばかりという異常天候の

なかで心配された稲作も、まあまあ出来栄、出品数も昨年を上廻り、努力がうかがえる良質な品ぞろいの品評会、農・林・商・工がひとつの輪になってく

りひろげた「町産業まつり」で

町がとくく、米消費拡大事業、農業後継者地域実践活動も総決算とあって、コ



大好評のおにぎり試食会



広報カレンダー

Calendar table with columns for month (11月, 12月) and day (1日, 2日, etc.), listing various events like '健康相談会のお知らせ' and '作業停電のお知らせ'.

働き盛りの中年の体をシワジワとむしばむ糖尿病、年々増える傾向にある糖尿病は、自覚症状が出てくると、そのままほうっておくと心臓病や腎臓病、視力障害などの余病を併発することもあります。

怖がることにはないけれど 侮れない糖尿病

インスリンが出てくる原因は、大きく分けて二つあります。ひとつには遺伝。調査によると、過去に糖尿病になったことのある人がいる家系の場合、発病する可能性は、二五割から四〇割といわれます。

怖いのは合併症

糖尿病は、いったんかかると完全に治るといふことはありません。しかし、だからといってむやみに怖がることはありません。方一かかったとしても、早い時期に正しい治療を受け病気をコントロールすれば、健康な人と同じような日常生活を送れます。

今月の保健行事

Table of health events with columns for '対象' (Target), '内容' (Content), '日時' (Date/Time), and '会場' (Venue).

健康伝言板

砂糖は、体温を保ち体を動かすためのエネルギーとして役に立ちますが、必要以上にとり過ぎると、さまざまな障害が出てきます。

今月の納税

- \*国民健康保険料 11月期
\*水道料 11月分
\*ガス料金 11月分



赤い羽根は39歳

赤い羽根共同募金は、みなさんの幸せを願っている人びとにわがまちあって、今年で39回目を迎えました。

「わかちあう・幸せ」を合言葉に十月一日から始まった、赤い羽根共同募金運動にご協力いただきありがとうございます。

お知らせ

三島町役場 42-2221(内)
日吉支所 長岡46-2049
ガス企業団 42-2671
水道企業団 42-2259
商場組合 42-2572
火事・救急 119

第十四回 町民駅伝大会

藤宮A 四連覇を阻止 優勝奪取

十一月三日、第十四回町民駅伝大会が、晴れたわたつた青空の下で行われた。

11月は「雇用保険適用促進月間」です

雇用保険の加入は、お済みですか。雇用保険は、事業主には労働者が安心して働ける職場をつくるために各種助成金を支給し、労働者には失業した場合に必要な給付を行なうことにより生活の安定を図り、再就職を、容易にする等就職の手助けをする制度です。

雪に強い住宅づくり展

雪の苦労から開放されるため、近年私たちは豊富に存在し、かつ安価に入手できる地下水に過度に依存してはいないでしょうか。しかし、これが原因でいま地下水の枯渇や地盤沈下が懸念されております。

おわびと訂正

先月号の、国民年金改正の文中、第二号保険者の確認とあるのは、第三号の誤りでした。訂正しおわびします。

ガス企業団からのお願い

冬期間は、ストーブ、湯沸器等のガス機器の給排気不良による、不完全燃焼事故が多発する時期です。使用については換気に充分注意をお願いします。



換気は充分に!

湯沸器やストーブなど、ガス器具の使用時は換気に注意しましょう。



11月はガス安全使用強調月間です

三島町と板町 ガス企業団 42-2671